

9. 參考資料

令和2年1月31日

議員政策研究会

未就学児教育・保育分科会資料

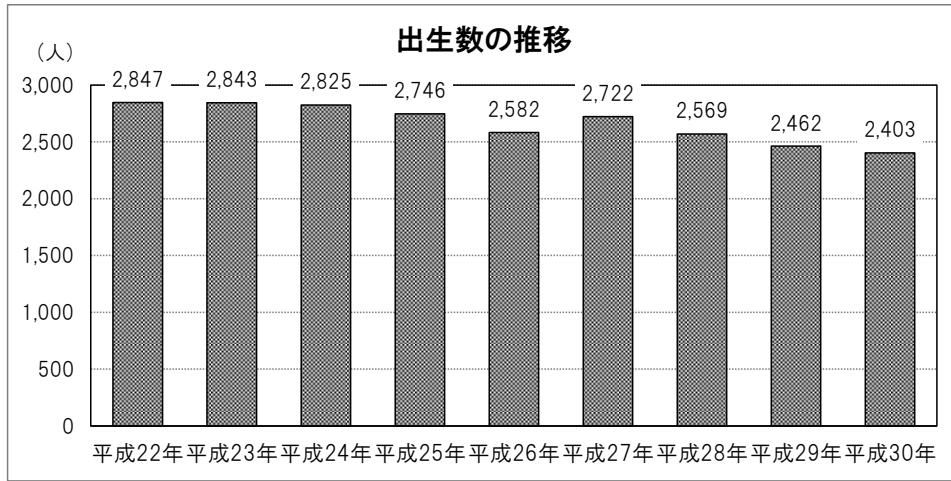
こども未来部

1. 本市の出生等の状況

(1) 出生等の状況

①出生数の推移

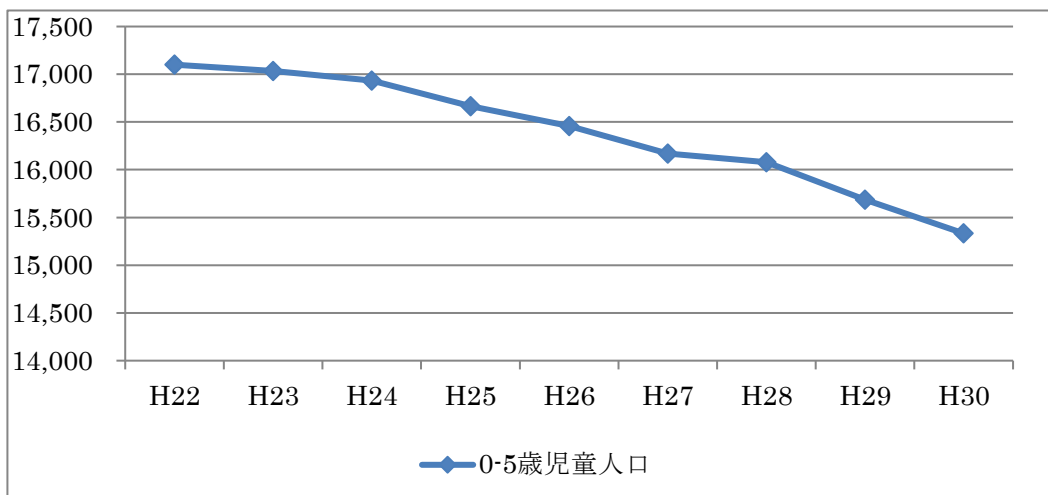
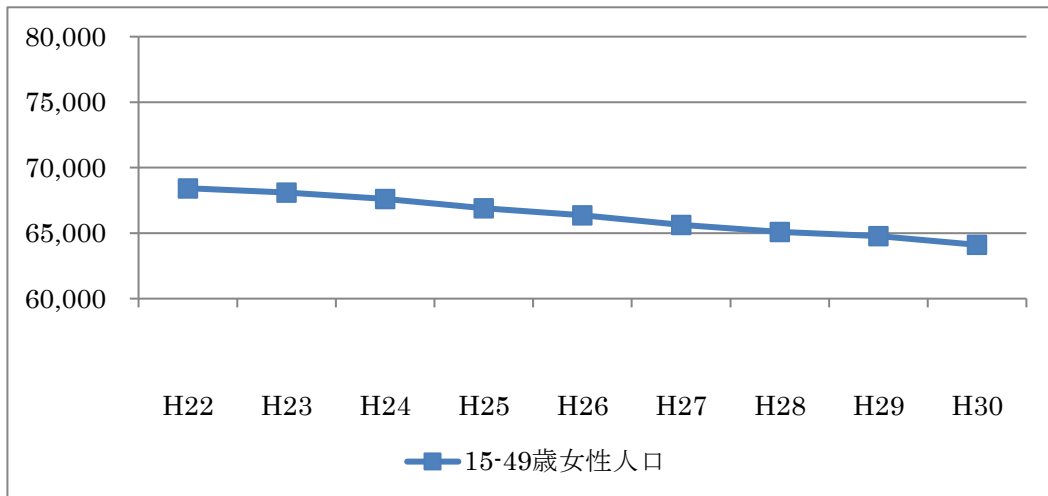
出生数は、平成27年に増加に転じたものの、その後再び減少傾向にある。



資料：四日市市統計書

②0～5歳児童数等の状況

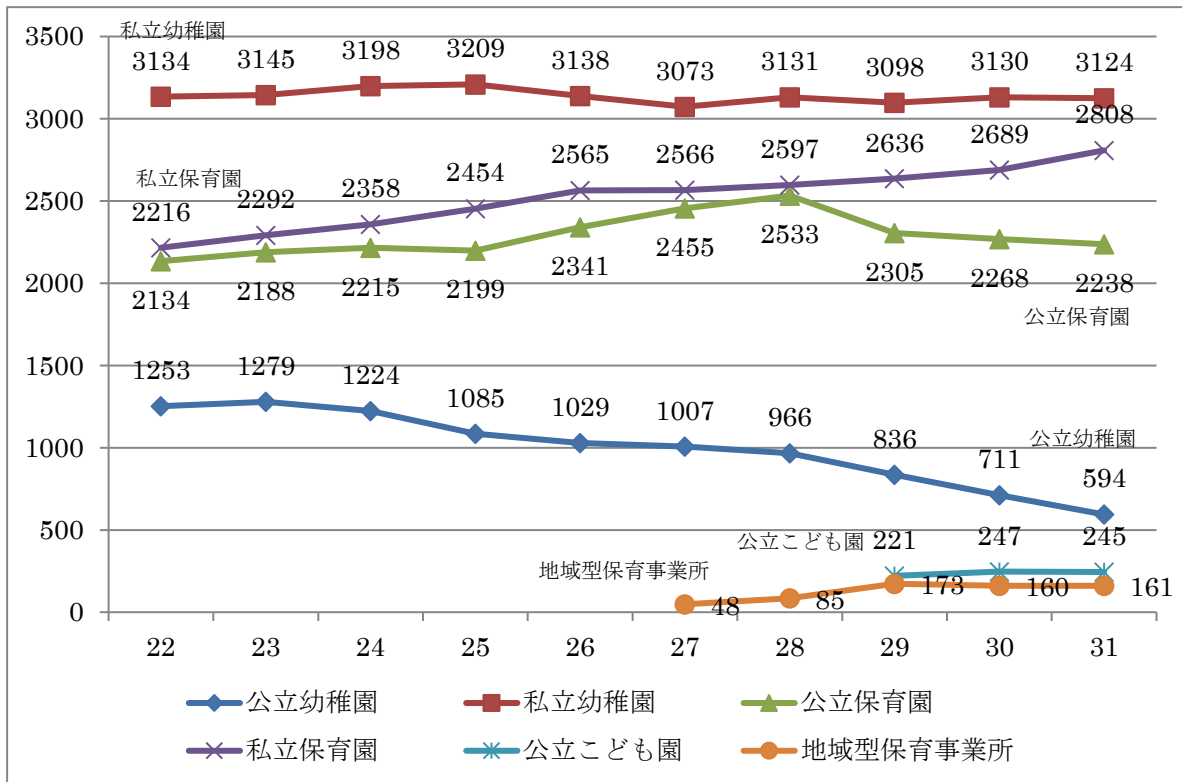
合計特殊出生率の算出対象とされている15～49歳までの女性人口が今後も減少傾向にあり、子どもの出生数は今後も減少傾向にあることが予想される。



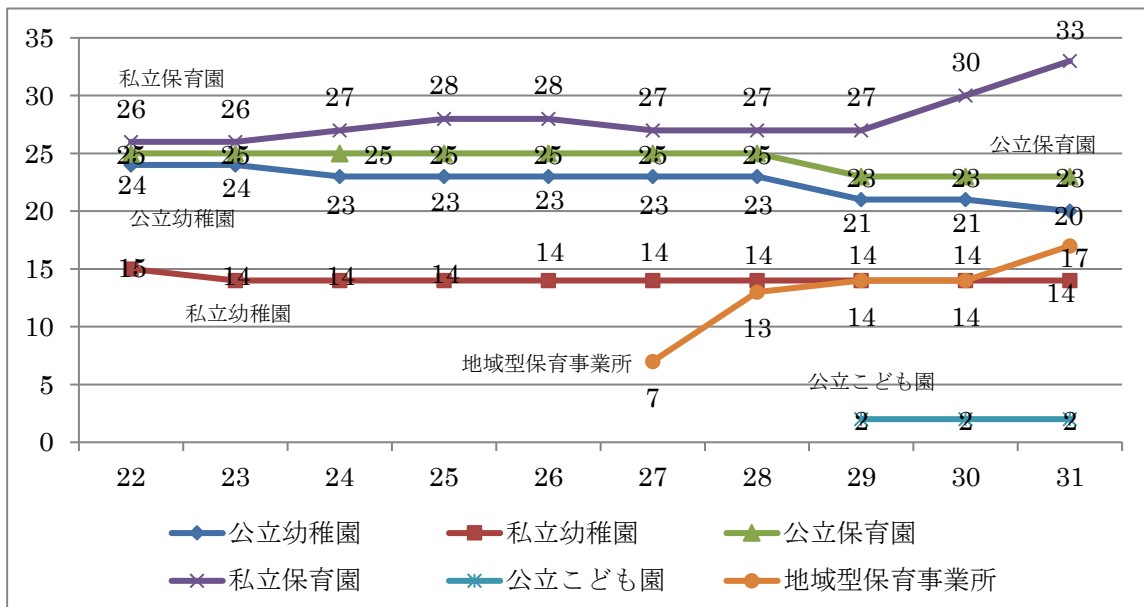
(2) 保育園・幼稚園等の園児数、施設数の状況

公立保育園や私立幼稚園の園児数は横ばいの傾向となっているが、待機児童対策として、私立保育園の新規開設による拡充を図ってきたこともあり、私立保育園の園児数が増加している。一方、公立幼稚園の園児数は減少傾向が続いている。

① 園児数の状況

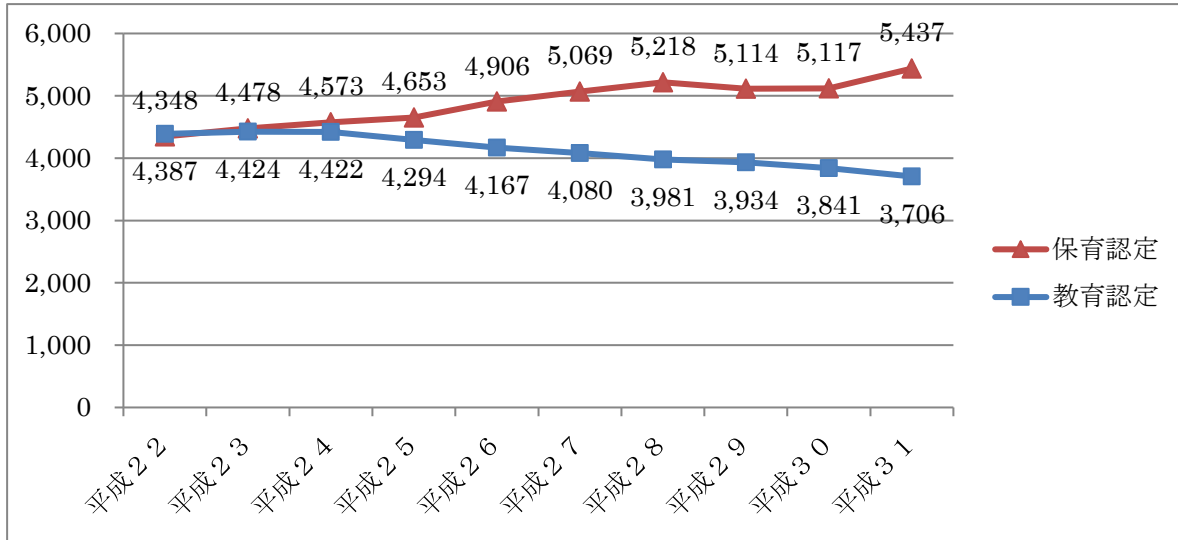


② 施設の状況



③ 教育認定、保育認定の状況

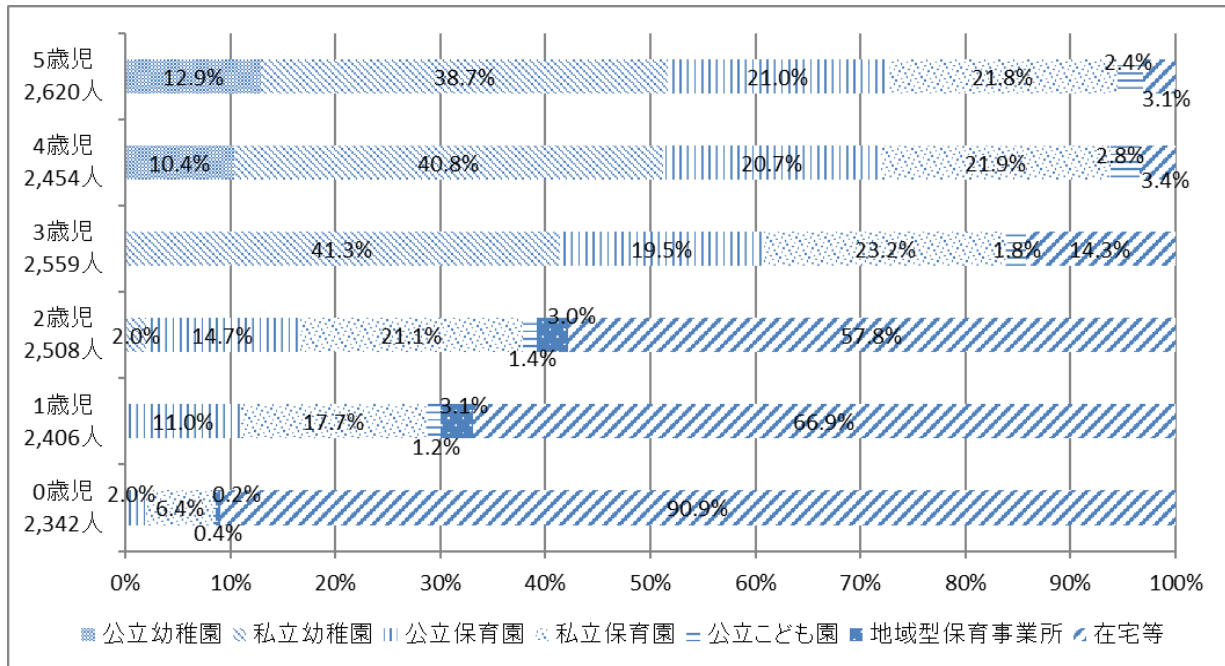
20歳代後半から30歳代の女性の労働人口の割合が年々上昇している中、本市でも就労する母親の割合が上昇傾向になっており、保育園、あるいは地域型保育事業等の利用といった保育認定による入園者が増え、幼稚園（あるいはこども園の教育認定）を利用の教育認定による入園者が減少している。



(3) 就学前児童の状況

0～2歳児については、私立保育園に通っている児童が最も多く、次いで公立保育園が多くなっている。一方、3～5歳児では私立幼稚園に通っている児童が40%以上を占め、最も多くなっている。また、公立保育園と私立保育園に通っている児童がそれぞれ20%前後、認定こども園に通っている児童が2%前後あるほか、4～5歳児では公立幼稚園に通っている児童が10%強である。

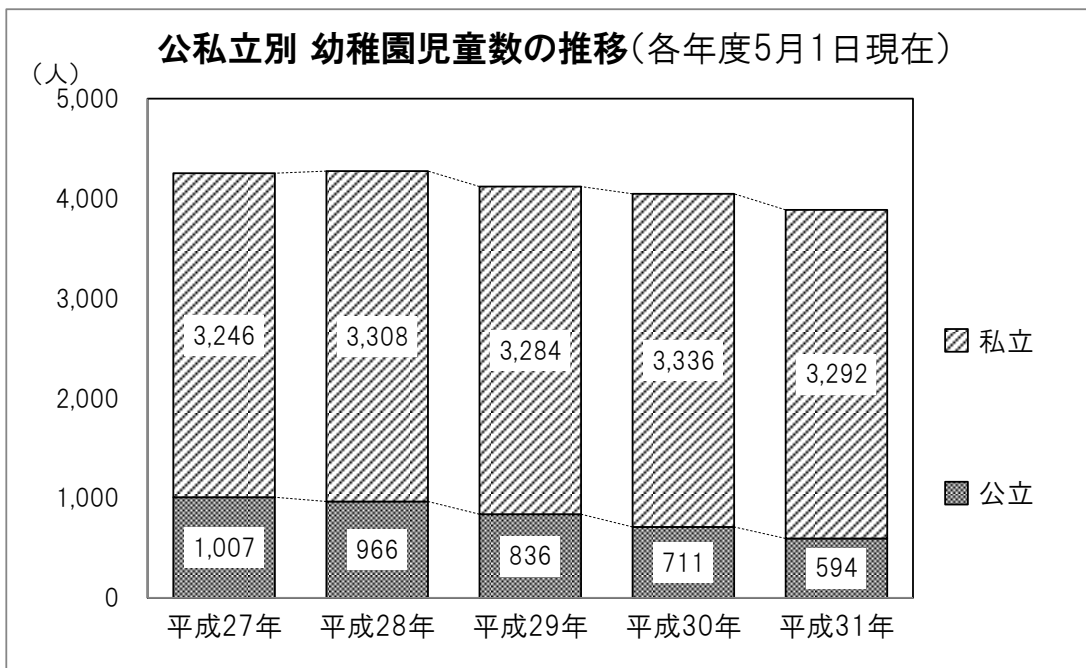
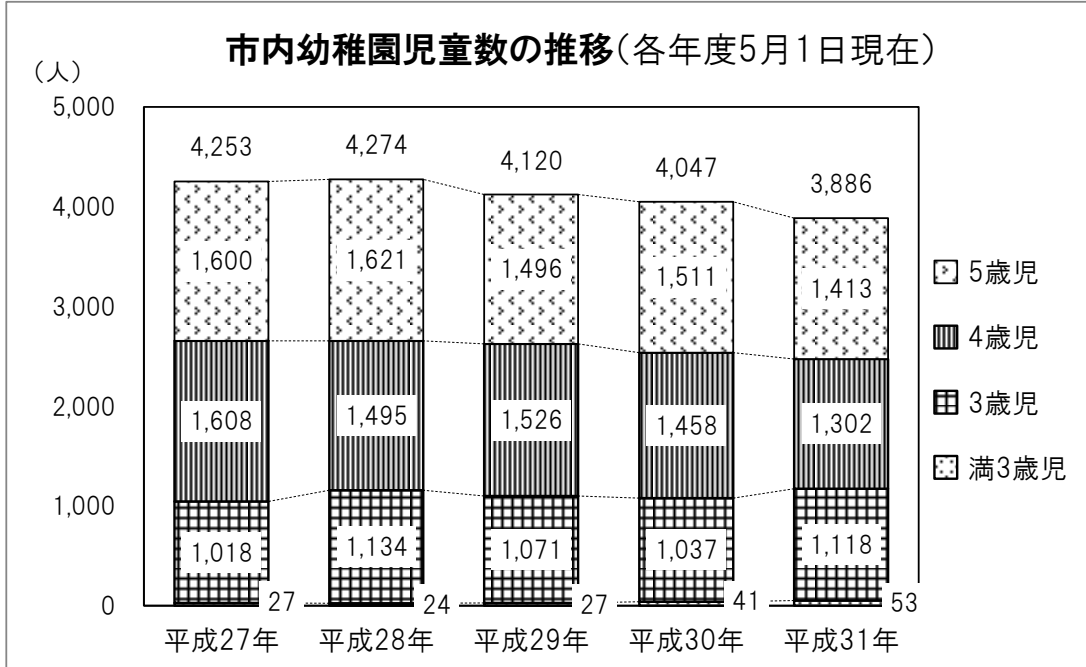
資料：就学前児童数は、平成31年4月1日現在の住民基本台帳人口



保育所の児童数は平成31年4月1日現在、幼稚園の児童数は令和元年5月1日現在
 「在宅等」には市外に通園する児童等も含

(4) 幼稚園の状況

幼稚園については公立20園、私立14園の合計34園で保育を実施している。公立幼稚園の利用児童数は減少が続いており、私立幼稚園の利用児童数は3,300人前後で推移している。



備考：3歳児、満3歳児は私立幼稚園における利用児童の人数

2. 令和2年度公立幼稚園・こども園 入園応募状況等について(令和元年9月末日現在)

公立幼稚園の園児数について、令和元年度の594人に対し、令和2年度の入園応募状況は9月末日現在で447人となっている。

4歳児、5歳児の1学級単位の園児数がそれぞれ18人を満たない園として「混合クラス」による運営の園は、令和元年度は12園であるが、令和2年度は9月末日時点において新たに4園が「混合クラス」となる想定である。

なお、保々幼稚園は、来年度に保々こども園(仮称)として開園の予定である。

	園名	R1園児(5月1日)			学級数		R2応募者、進級者数 (9月末日)			学級数	
		4歳児	5歳児	計	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	計	4歳児	5歳児
1	四日市幼	11	10	21		混合1	8	13	21		混合1
2	富田幼	13	7	20		混合1	8	13	21		混合1
3	海蔵幼	14	21	35	1	1	12	12	24		混合1
4	泊山幼	21	39	60	1	2	24	21	45	1	1
5	内部幼	21	25	46	1	1	15	21	36	1	1
6	川島幼	6	8	14		混合1	4	6	10		混合1
7	神前幼	2	12	14		混合1	0	2	2		混合1
8	三重幼	10	12	22		混合1	15	10	25		混合1
9	保々幼	10	11	21		混合1	-	-	-		-
10	下野幼	17	15	32		混合1	14	17	31		混合1
11	羽津幼	17	22	39	1	1	10	17	27		混合1
12	富洲原幼	5	14	19		混合1	8	7	15		混合1
13	高花平幼	7	8	15		混合1	2	7	9		混合1
14	大矢知幼	16	18	34	1	1	14	15	29		混合1
15	八郷中央幼	7	9	16		混合1	6	7	13		混合1
16	桜幼	16	11	27		混合1	4	16	20		混合1
17	常磐中央幼	22	35	57	1	1	12	21	33	1	1
18	笹川中央幼	15	26	41	1	1	17	17	34		混合1
19	三重西幼	6	6	12		混合1	9	6	15		混合1
20	楠北幼	19	30	49	1	1	19	18	37	1	1
	計	255	339	594	8	21	201	246	447	4	19

	園名	R1園児数(5月1日)			学級数		R2応募者、進級者数 (9月末日)			学級数	
		4歳児	5歳児	計	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	計	4歳児	5歳児
1	橋北こども園	4	3	7	保育認定と合同		3	3	6	保育認定と合同	
2	塩浜こども園	5	4	9	"		2	6	8	"	
3	保々こども園 (仮称)	-	-	-	-		5	8	13	"	
	計	9	7	16			10	17	27		

3. 幼児教育・保育の無償化の概要

(1) 対象者

幼稚園、保育園、認定こども園、地域型保育所、認可外保育所等を利用する3～5歳児までの全ての子ども、および市民税非課税世帯における0～2歳児

- ・私立幼稚園においては満3歳から無償化
- ・認可外保育施設等および私立幼稚園の預かり保育については、市が保育の必要性を認めた世帯について無償化

(2) 無償化の範囲

- ・公立保育園、私立保育園、公立幼稚園および新制度に移行している私立幼稚園（6園）においては、保育料が無償
- ・新制度に移行していない私立幼稚園（8園）においては、月額25,700円を上限に保育料が無償
- ・認可外保育施設等においては、月額37,000円を上限に保育料が無償
- ・私立幼稚園においては、上記に加え、月額11,300円（日額上限450円）を上限に預かり保育の保育料が無償

(3) 無償化の範囲外の主な費用〔保育園、幼稚園〕

- ・給食費（第3子及び低所得者は主食費のみ）
 - 公立保育園：副食費月額3,700円、主食費（公立は月額900円）
 - 公立幼稚園：197円/食（週2回）
 - 私立幼稚園：月額5,000円程度
- ・制服、帽子、カバン代（指定品）
 - 公立保育園：1,000円程度（2歳児以上）
 - 私立保育園：1,000～50,000円程度
 - 公立幼稚園：10,000円程度
 - 私立幼稚園：1,000～50,000円程度
- ・通園送迎費
 - 公立保育園：なし
 - 私立保育園：月額2,500円（1園、希望者のみ）
 - 公立幼稚園：なし
 - 私立幼稚園：月額3,000～5,000円程度

4. 公立園における特別支援および外国籍の園児の状況について

◇ 公立保育園・こども園 園児数(令和元年5月1日現在)

◇ 公立幼稚園 園児数(令和元年5月1日現在)

〔単位:人〕

	園名	園児数	特別支援 園児数 (内数)	外国籍 園児数 (内数)
1	橋北こども園	162	17	0
2	塩浜こども園	84	13	3
3	富洲原	127	9	2
4	四郷	106	20	2
5	羽津	141	15	1
6	あがた	77	8	0
7	大矢知	116	18	9
8	中央	106	7	3
9	ときわ	164	34	6
10	富田	96	14	5
11	海蔵	127	17	0
12	下野	70	2	4
13	内部	123	15	0
14	磯津	41	5	1
15	坂部	77	13	2
16	保々	106	15	0
17	笹川	85	13	41
18	神前	91	14	0
19	日永中央	115	22	13
20	笹川西	71	19	30
21	桜台	94	10	0
22	下野中央	90	13	0
23	八郷西	73	5	1
24	くす北	43	7	1
25	くす南	101	10	0
	計	2,486	335	124

〔単位:人〕

	園名	園児数	特別支援 園児数 (内数)	外国籍 園児数 (内数)
1	四日市幼	21	4	2
2	富田幼	20	1	0
3	海蔵幼	35	3	0
4	泊山幼	60	10	2
5	内部幼	46	4	0
6	川島幼	14	1	0
7	神前幼	14	0	0
8	三重幼	22	5	0
9	保々幼	21	0	0
10	下野幼	32	4	0
11	羽津幼	39	6	0
12	富洲原幼	19	2	0
13	高花平幼	15	2	0
14	大矢知幼	34	3	0
15	八郷中央幼	16	1	0
16	桜幼	27	7	0
17	常磐中央幼	57	6	3
18	笹川中央幼	41	8	26
19	三重西幼	12	1	0
20	楠北幼	49	4	1
	計	594	72	34

(1) 保育園、幼稚園における特別支援保育の現状と課題

① 現状

- ・一人ひとりの園児の発達や特性に応じた支援をし、クラス集団の中で共に育ち合うことができるように介助度に応じて加配保育士、教諭を配置し、担任と連携を取り合って保育を進めている。
- ・発達の遅れや発達障害など特別な支援を要する子どもの数は、過去5年間において大きな変動は少ないものの、介助度の高い子どもの割合は若干増えており、低年齢化も見られる。
- ・支援を要する子どもは公立園を中心に保育を実施しているが、私立保育園を希望する保護者もみられ、私立園との協議を経て、受け入れの決定をしている。
- ・本市の3歳児以下の支援が必要な子どもは、低年齢時期にその子の育ちに向き合い親子の愛着関係の基礎をつけることをねらいとして、保護者との通園によるあけぼの学園での児童発達支援といった方向性を保護者面談で勧めているが、家庭の状況等によりあけぼの学園への通園が困難な場合に、低年齢での入園を受入れている現状がある。

⇒ 特別支援保育の実施方針

- ・一人ひとりの子どもに寄り添い、子どもの育ちや内面の状態を理解しながら子どもと保護者と信頼関係を構築し、園が安心できる場所になる。
- ・子どもの特性や能力、願いを把握した保育（環境設定や関わり方、職員連携等）を行い、クラスの子どもたちと共に育ち合う保育を行う。
- ・子どもの育ちについて、保育者と保護者が互いに伝え合い、保護者と共にその育ちや想いを共有していく。

② 課題

- ・特別な支援を要する子どもの様々な特性に対して、保育に関する適正な理解と手立てを行い、加配保育士と担任保育士、教諭が連携し、クラスの子どもたちが共に育ち合う保育を目指しているが、必要な知識も多岐にわたりその専門性も高まっている。
- ・クラスにおける支援を要する子どもの割合が高くなることにより、保育活動においてモデルとなる子どもが少なくなり、共に育ち合う保育が難しい場面がある。
- ・医療的ケアが必要な子どもに関し、医療的ケアに関する担当看護師の確保、あるいはその実施場所など、ケースごとに異なる子どもの健康状態や発達状況を考慮しながら、具体的な準備を進めていく必要がある。

(2) 保育園、幼稚園における外国籍園児への保育の現状と課題

① 現状

- ・笹川地区には、ブラジル、ペルー、ボリビア国籍の子どもが多く在籍している状況がある。
- ・笹川地区にある公立園3園に通訳を配置し、各園と連携を取りながら対応している。
 笹川保育園2名（ポルトガル語通訳）、
 笹川西保育園2名（ポルトガル語通訳、うち1名欠員）、
 笹川中央幼稚園2名（ポルトガル語通訳）
- ・子どもへの指導等に関しては、「やさしい日本語」を使い、声のトーン、抑揚、表情、視線などに配慮したりして、活動内容を説明するときは視覚化に努めている。
- ・外国籍の子どもの場合も、支援を要する子どもが増えてきており、その子どもの特性や能力等に応じた保育を行っている。

② 課題

- ・子どもにとって自分の発する言葉が友だちに通じない状況の場合、遊びの経験が広がらないことなどがある。
- ・同じクラスに日本人が少ない場合には、外国籍の子どもにとっても日本の生活習慣を身に着ける場面が少ない状況がある。
- ・園職員は、子どもの姿を保護者にていねいに説明し、こまめに連絡をとるようにしている。しかし、集団の中で育っていることや友だち同士の関わり方について子育ての考え方の違いなどから、保護者に伝わりにくい場面がある。

5. 未就園児の状況 [令和元年8月現在]

[単位：人]

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	総計
未就園児数	2,789	1,393	1,104	257	38	33	5,614

四日市市

乳幼児教育・保育ビジョン



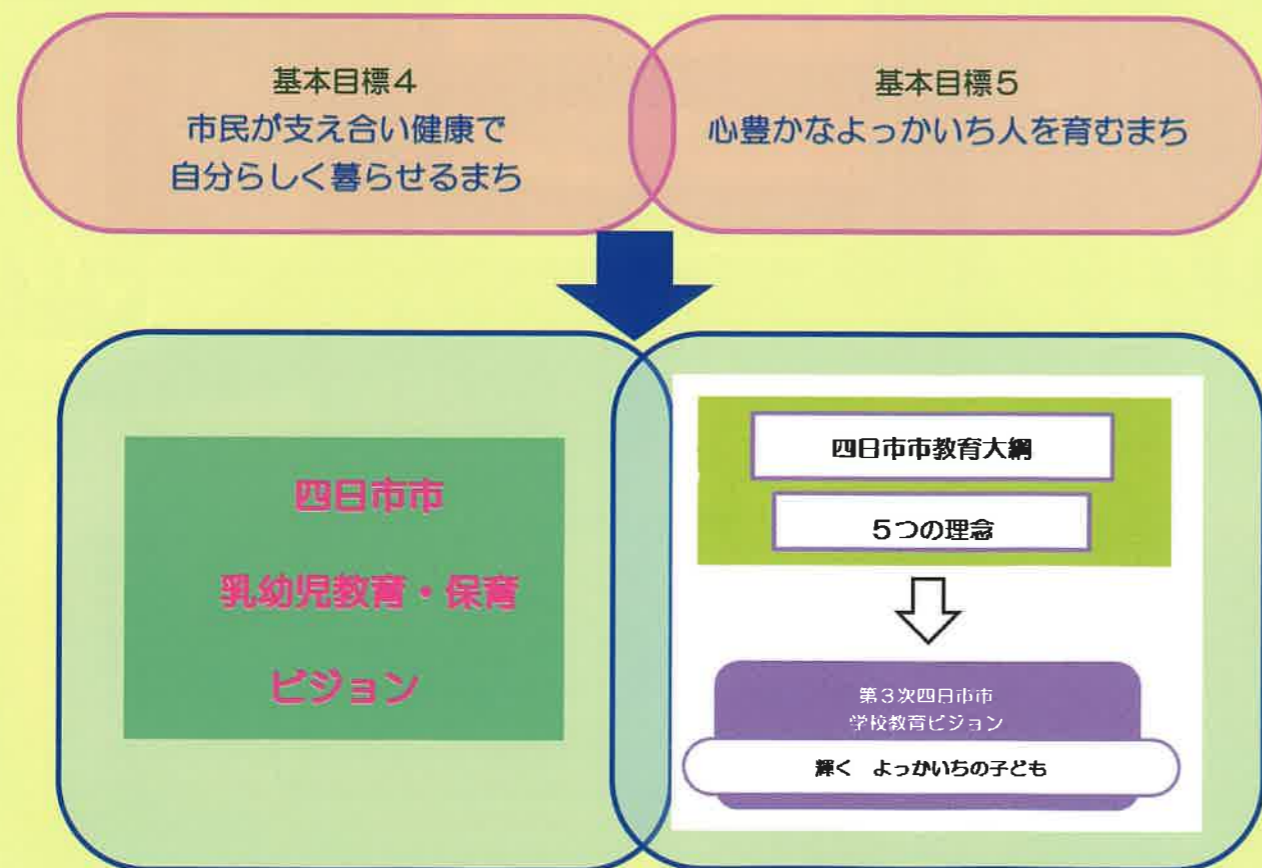
遊びを通して、「生きる力」・「共に生きる力」の基礎を育てています

本市では、「みんなが誇りを持てるまち 四日市」を目指し、新たなまちづくりの指針としての「四日市市総合計画」が、平成 23 年度から 10 年間で計画期間として策定されています。その基本計画の中で、

基本目標4「市民が支え合い健康で自分らしく暮らせるまち」において保育に関すること
 基本目標5「心豊かなよっかいち人を育むまち」において教育に関することが掲げられています。

その基本目標にむけて、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な乳幼児期の保育・教育の充実を図ることをめざし、平成 30 年度より幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂されたことも含めて、乳幼児期のビジョンを策定しております。

四日市市総合計画



四日市市乳幼児教育・保育ビジョン

本市の保育園・幼稚園・こども園においては、「生きる力・共に生きる力の基礎を育む」という基本理念のもと、保育者などとの信頼関係を基盤にし、次の3つの資質・能力を育成します。

★「知識及び技能の基礎」

(豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、わかったり、できるようになったりする)

★「思考力・判断力・表現力等の基礎」

(気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする)

★「学びに向かう力、人間性等」

(心情・意欲・態度が育つ中で、より良い生活を営もうとする)

そして、将来においても、自立した人間としてたくましく生き、他者と協働し、未来を切り開いていくことのできる「輝く よっかいちの子ども」の育成を目指します。

基本理念 生きる力・共に生きる力を育む

目指す子どもの姿 輝く よっかいちの子ども

子どもはありのままの自分を受け止めてもらえることの心地よさを味わい、保育者等への信頼をよりどころとして、一人ひとりがかけがえのない存在であると感じとっていきます。人との相互的なかわりにより育まれていく自尊感情は、子どもの将来にわたる心の基盤を培います。

子どもの生活の中心は、遊びです。遊びは、乳幼児期の重要な学習の場であり、心を育てる場です。子どもたちは、「おもしろい」「たのしい」というような心が揺り動かされる豊かな体験をする中で、友だちとのかかわり方や人として生きるためのさまざまなことを学びます。

《めざす子どもの姿》

輝くよっかいちの子ども

遊びから生きる力を

学ぶ子

《具体的な子どもの姿》

豊かな心と丈夫な身体を

持つ子

豊かなかかわりあい

もてる子

《遊びの中の学び》

幼児教育において
育みたい資質・能力

考える・工夫する・表現する

感じる・気づく・わかる

やってみる

生命の保持

健やかに伸び伸び
と育つ

身近な人と気持ち
が通じ合う

身近なものに関わり
感性が育つ

情緒の安定

遊びの中での学び...子どもたちは遊びの中でいろいろなことを学んでいます



乳児保育にかかわる
ねらい及び内容

身近な人と気持ちが通じ合う

身近なものとかかわり感性が育つ

健やかに伸び伸びと育つ

0歳



だいすき
だっこされ、見つめ合ったり優しく話しかけてもらうことで情緒の安定につながります。

1~2歳



「どれにする」「どっちがいい」
「いやいや」「しぶんて」と自己主張をしたときに、身近な大人に「そうだね」と気持ちに言葉をしてもらったり、自分で決めたりする経験が意欲につながっていきます。



ねえ、こっち見て
自分の発見や欲求を喃語や指さして知らせます。「みつけたね」「うれしいね」と大人に伝えてもらうことで特定の人と関わろうという気持ちが育ちます。



まねして・みだてて・〇〇ごっこ
掃除機をかける真似、コップを持って飲む真似、積み木を電話にみだてて話したり、「どうぞ」「ありがとう」とやりとりしたりする中で、言葉を覚え、友だちと遊ぶ楽しさを知っていきます。



散歩は 楽しいな
安心できる人と場所で、見たり触ったりする機会を通して、周りへの興味や好奇心が芽生えてきます。

3~4歳



「こうしたいな」「それもいいね」
友だちと遊ぶ中で自分の思いをだし、葛藤や折り合いをつける経験は、自分の気持ちを調整することにつながります。



なりきってあそぶ
大好きなものになりきり、必要なものを作ったり、友だちといっしょに演じて遊ぶなかで豊かな感性、表現力が育っていきます。



たいせつなもの
自然にかかわる中で、心動かす経験を重ね、命あるものを大切にしようという気持ちが育っていきます。

5~6歳



「いらっしゃい」「こちらはいかがですか、おいしいですよ」
いろいろな人とかわる中でうれしさや役に立つ喜びを感じていきます。また言葉のやり取りを楽しむ中で、人の話を聞いたり自分の思いを言葉で表現しようとしています。



「こうやったらどうかな」
物の性質や仕組みに気づき、考えたり工夫したりするとともに、仲間と一緒に思いを伝え合って試行錯誤しながら、実現する喜びを味わっていきます。



「体を動かすってたのしいな」
体を動かす心地よさを感じるとともに、ルールを考えたり、場所を工夫するなどして自分たちで遊びを進めていこうとします。遊ぶ中で様々なことを学び合っています。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

言葉による伝え合い

数量や図形、標識や文字等への関心・感覚

社会生活とのかかわり

豊かな感性と表現

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

思考力の芽生え

自然とのかかわり・生命尊重

健康な心と体

自立心

幼児教育において
育みたい資質・能力

考える・工夫する・表現する

感じる・気づく・わかる

やってみる

小学校教育

思考力・判断力・表現力等

知識及び技能

学びに向かう力・人間性等

子どもの命が守られ、愛され、信頼できる関係を大切にしています

子どもは、安全で衛生的な環境（生命の保持）の中で、“笑ったら笑い返してくれる” “泣いたら「どうしたの」と聴いてくれた” など自分の思いや気持ちをうけとめてもらえるという安心感（情緒の安定）が生まれます。さらに、身近な人とのかかわりの中で人と気持ちが通じ合い、信頼関係ができていきます。そして“自分のことが好き”という自尊感情が芽生えます。このような愛着関係を基盤にして心身の健やかな成長を促していくことを大切にしています。

乳幼児教育・保育の充実にに向けて取り組んでいます

★大切にしている5つのポイント

★地域・家庭との連携

地域に開かれた園を目指します。保護者と共に子どもの成長を確認し、子育ての喜びを実感していく関係を作っています。

★子育て支援

0歳から就学前までの親子を対象に体験保育や行事への参加、子育て相談を実施しています。

★保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校との連携

乳幼児教育・保育で、大切にしていることを、小中学校へ発信し、共有していきます。子ども同士の交流や、職員間の連携を図り、体験、行事参加などを行い学びにつなげています。

★人権

一人ひとりが、かけがえのない存在と実感し、さまざまな活動を通してお互いの個性を尊重し合い、人（他者）との豊かな関係を築き育みます。

★特別支援

一人ひとりのよさを伸ばし、共に育ち合う仲間づくりを目指します。関係機関と連携をとって、子どもを理解し、教育・保育を進めていきます。

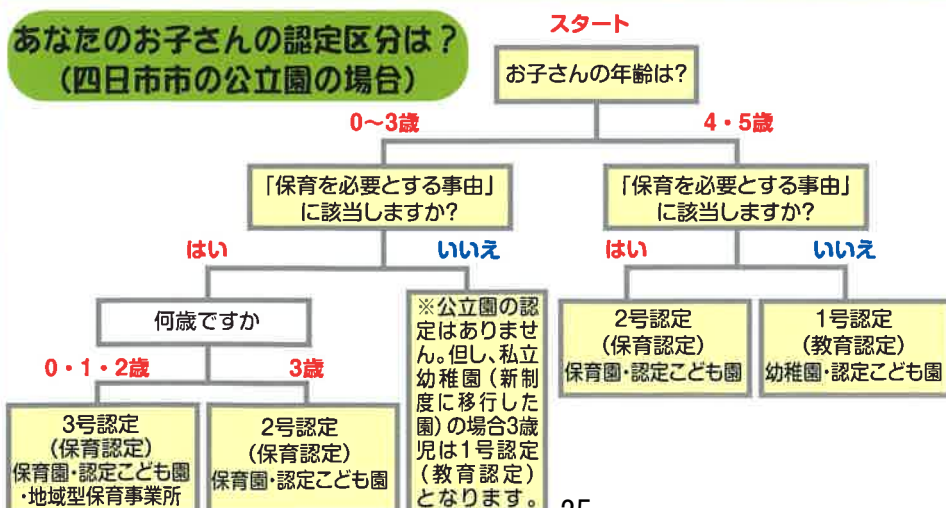
小学校教育とのなめらかな接続を図っています

いつも気持ちを受け止めてもらえるという安心感や信頼感に基づいた関係の中で、子どもたちは夢中になって遊び、豊かな経験と体験を重ね、興味や意欲を広げていきます。園では、乳幼児期にふさわしい遊びや生活が展開できるよう環境を工夫し、子どもが主体的に遊びに関わり、試行錯誤しながら学んでいけるようにしています。また、その学びが小学校教育とのなめらかな接続となるよう努めています。

保育園・幼稚園・こども園の一日の流れ

	4・5歳児 教育認定(1号認定) 保育認定(2号認定)	3歳児 保育認定(2号認定・3号認定)	0・1・2歳児 保育認定(2号認定・3号認定)
(7:00) 7:30	◆登園	◆登園	◆登園
8:30	保護者の就労により順次登園		
9:00	◆自ら選んでする活動		◆自ら選んでする遊び
10:30	◆クラス全体でする活動		◆おやつ ◆自ら選んでする遊び
11:30	◆昼食		◆給食
14:00	◆自ら選んでする活動	◆午睡(3歳児)	◆午睡
14:30	◆降園	◆おやつ	◆おやつ
15:30		◆順次降園 ◆好きな遊びをする	◆順次降園 ◆好きな遊びをする
18:00 (19:00)			

あなたのお子さんの認定区分は？ (四日市市の公立園の場合)



編集 発行
四日市市 こども未来部
2018年8月